

平成28年の新千歳空港の旅客数は約2,131万2,000人で、うち国内線は前年と比較して2.1%増の約1,873万2,000人、国際線は22.7%増の約258万人で、いずれも3年連続で過去最高を更新しました。

新千歳空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し91年を迎えます。

新千歳空港は国内航空路線網の基幹空港であり、北海道における国際航空の拠点で、2本の3,000m滑走路を備えた空港法に基づき国土交通大臣が設置管理する空港です。

平成6年に日本初の24時間空港として運用を開始し、大圏航路で北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、旅客と貨物の輸送において国内線と国際線の連帯を担う日本の本格的なハブ空港を目指しています。

また、平成22年3月には国際線旅客ターミナルが供用を開始し利便性が格段に向上しました。航空路は28年実績で国内各地29都市、海外では台湾、韓国、中国などの15都市と結ばれています。国内線乗降客数は東京国際空港（羽田）に次いで2番目に多い利用者数となっています。また、世界最大級の輸送人員を誇る路線として知られる新千歳 - 羽田線には1日53往復（29年4月現在）が運行し、年間約970万人が利用しています。

千歳市管内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の4つの旅客駅が設置されています。平成27年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内3位、8位と利用者が多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道のほか本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は札幌 - 千歳 - 苫小牧 - 室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道5路線と道道14路線が鉄道とともにネットワークを構成し、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

昭和46年には北海道初の高速幹線自動車道・北海道縦貫自動車道の一部である千歳 - 北広島間が開通し、現在は札幌ジャンクションから小樽方面へ、千歳恵庭ジャンクションから道東方面を結ぶ北海道横断自動車道は、阿寒まで直結しています。

また、平成25年8月に新千歳空港インターチェンジが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路の整備も進んでいます。

鉄道と道路で直結した苫小牧・室蘭には特定重要港湾があり、千歳は北海道における「陸・海・空」をジョイントする一大交通拠点です。



59 新千歳空港概要

(1) 基本施設

面積 725万㎡

滑走路 A滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)

B滑走路 延長 3,000m 幅 60m (アスファルトコンクリート舗装)

誘導路 延長 14,998m 幅 23m～58m

エプロン 面積 749,730㎡ 大型航空機用50バース 中型航空機用3バース

小型航空機用8バース

東京航空局新千歳空港事務所

(2) 旅客ターミナルビル

ア 床面積・用途

(単位 ㎡)

区分	国内線ターミナルビル	用途
地下1階	23,807	
1階	43,972	バゲージクレーム 到着ロビー等
2階	57,582	出発ロビー 搭乗待合室 ショッピングワールド等
3階	36,624	グルメワールド 有料待合室 ホテル等
4階	16,815	温泉施設 映画館 ホテル等
5階	4,722	ホテル等
塔屋	610	
計	184,132	
区分	国際線ターミナルビル	用途
地下1階	338	
1階	11,690	車寄せロビー等
2階	21,748	到着ロビー 到着コンコース等
3階	19,051	出発ロビー 出発コンコース等
4階	6,275	有料待合室 フードコート等
5階	—	
塔屋	53	
計	59,155	
区分	連絡施設	用途
地下1階	224	
1階	1,815	ホール
2階	8,072	連絡通路等
3階	8,072	エンターテイメント施設
4階	2,942	機械室等
5階	—	
塔屋	3	
計	21,128	

イ 機械設備

(ア) 国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	77基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	14基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	12基
	出発・到着ベルトコンベア	26基（出発17 到着9）
	ダムウェーター	2基
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード120台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	70台（情報配信端末58台 タッチパネル端末12台）	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機	

(イ) 国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	8基
	旅客用エスカレーター	24基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	4基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	15基
	人荷用エレベーター	6基
	出発・到着ベルトコンベア	20基（出発14 到着6）
フライトインフォメーション	一式 制御操作装置・表示ボード94台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	32台（情報配信端末24台 タッチパネル端末8台）	
構内電話交換設備	一式 大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

(ウ) 連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	8基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード 20台	
デジタルメディア設備	23台（情報配信端末18台 タッチパネル端末5台）	

北海道空港(株)



(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア 航空会社棟

(単位 m²)

区 分	日本航空棟	A N A 棟	用 途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1 階	7,990	5,618	
2 階	965	369	
計	9,439	6,223	

イ 代理店棟 (日通棟を含む)

(単位 m²)

区 分	代理店上屋	用 途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1 階	4,645	
2 階	1,269	
計	6,159	

北海道空港㈱

(4) ターミナルアネックスビル

(単位 m²)

区 分	ターミナルビル付属棟	用 途
地下1階 5 階 (塔屋含む)	7,602	事務室等

北海道空港㈱

(5) ケータリング (機内食) 施設

(単位 m²)

区 分	ケータリング施設	用 途
1 階 2 階	10,160	機内食工場・食品調整工場等

北海道空港㈱

(6) 車両整備格納庫

(単位 m²)

区 分	A 棟	B 棟	用 途
1 階 2 階	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫

北海道空港㈱

60 新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総 数	乗 客	降 客
24年	(1,079,205) 17,462,897	(536,774) 8,796,266	(542,431) 8,666,631
25年	(1,270,273) 18,669,037	(631,312) 9,385,536	(638,961) 9,283,501
26年	(1,542,860) 19,260,408	(763,588) 9,680,480	(779,272) 9,579,928
27年	(2,103,542) 20,452,336	(1,043,604) 10,286,494	(1,059,938) 10,165,842
28年	(2,580,268) 21,312,287	(1,283,383) 10,726,724	(1,296,885) 10,585,563
1月	(258,487) 1,711,694	(127,195) 882,279	(131,292) 829,415
2月	(258,922) 1,696,180	(131,734) 862,434	(127,188) 833,746
3月	(195,926) 1,743,571	(99,839) 886,840	(96,087) 856,731
4月	(141,974) 1,401,366	(70,938) 683,729	(71,036) 717,637
5月	(161,764) 1,669,192	(79,807) 848,991	(81,957) 820,201
6月	(172,387) 1,752,975	(83,598) 869,059	(88,789) 883,916
7月	(253,002) 1,992,785	(123,339) 993,588	(129,663) 999,197
8月	(244,972) 2,125,353	(127,618) 1,093,257	(117,354) 1,032,096
9月	(176,646) 1,999,948	(86,321) 1,007,812	(90,325) 992,136
10月	(224,811) 1,965,675	(113,196) 1,003,523	(111,615) 962,152
11月	(194,872) 1,627,358	(95,729) 812,307	(99,143) 815,051
12月	(296,505) 1,626,190	(144,069) 782,905	(152,436) 843,285

1 () 内は国際線乗降客数で再掲である
東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

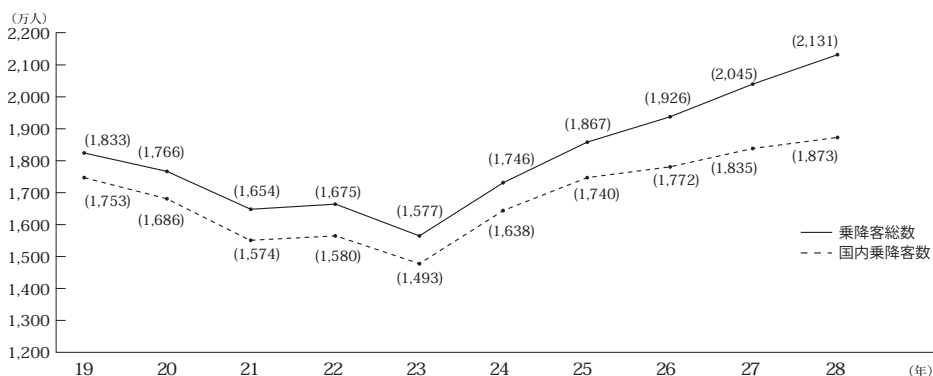
61 新千歳空港乗降客数（平成28年）

種別	路線	乗降客数
総数		21,312,287
国内線総数		18,732,019
拠点空港	社会管理空港	成田 1,727,155 中部 1,411,685 関西 1,157,861
	国管理空港	稚内 52,492 釧路 105,281 函館 67,731 仙台 757,924 新大塚 152,425 東大阪 9,669,891 大田原 1,162,205 福岡 150,965 沖縄 535,442
	特定地方管理空港	秋田 99,736
	地方管理空港	利尻 105,246 中津別 22,653 女木 106,636 青森 197,871 花巻 128,338 福島 92,218 富山 72,633 松本 67,841 本 42,906

種別	路線	乗降客数
地方管理空港	静岡 80,400	
	神戸 495,983	
	岡山 73,288 山雲 5,021	
共用空港	茨城 106,562	
	小松 80,486	
	徳島 3,144	
国際線総数		2,580,268
中国 (北京、上海、天津)		252,742
韓国 (ソウル、釜山、大邱)		771,629
台湾 (台北、高雄)		737,620
香港		366,437
その他定期路線 (Guam、ホノルル、バンコク、クアラルンプール、ユジノサハリンスク、シンガポール)		441,376
チャーター便等		10,464

東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

乗降客数の推移



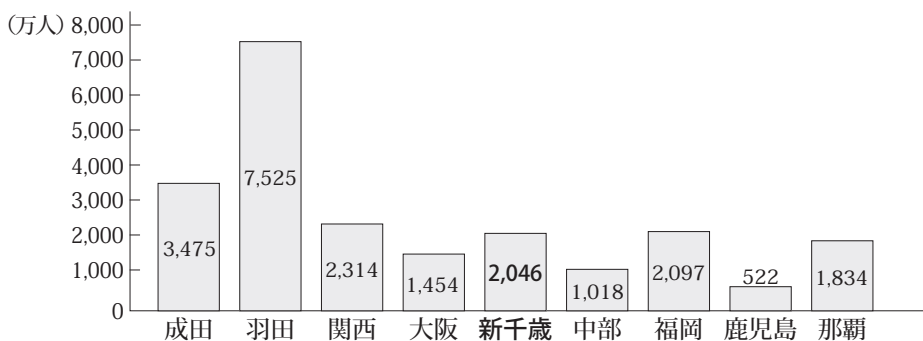
62 新千歳空港貨物取扱量の推移

(単位 kg)

区 分	総数		積荷		降荷	
	27 年	28 年	27 年	28 年	27 年	28 年
総 数	(10,786,412) 215,556,446	(10,015,644) 208,478,748	(6,888,512) 111,519,554	(5,900,900) 105,546,776	(3,897,900) 104,036,892	(4,114,744) 102,931,972
1 月	(829,839) 13,036,570	(709,183) 13,395,781	(584,652) 5,655,301	(472,627) 5,868,625	(245,187) 7,381,269	(236,556) 7,527,156
2 月	(1,468,947) 14,152,320	(665,976) 13,325,906	(1,201,593) 6,370,818	(449,577) 5,852,488	(267,354) 7,781,502	(216,399) 7,473,418
3 月	(1,071,749) 16,488,813	(847,200) 16,316,898	(721,975) 6,909,289	(571,550) 6,973,786	(349,774) 9,579,524	(275,650) 9,343,112
4 月	(890,505) 15,280,722	(737,713) 15,185,498	(555,110) 6,785,405	(470,306) 6,734,003	(335,395) 8,495,317	(267,407) 8,451,495
5 月	(1,011,564) 14,686,723	(778,525) 14,007,171	(639,586) 6,810,372	(441,945) 6,307,656	(371,978) 7,876,351	(336,580) 7,699,515
6 月	(737,450) 15,626,384	(700,904) 15,716,634	(478,853) 7,537,718	(417,753) 7,437,525	(258,597) 8,088,666	(283,151) 8,279,109
7 月	(727,561) 21,229,393	(753,638) 20,503,821	(465,257) 12,618,845	(439,141) 11,980,842	(262,304) 8,610,548	(314,497) 8,522,979
8 月	(726,243) 20,381,107	(800,928) 20,089,973	(412,013) 12,277,102	(450,916) 11,670,609	(314,230) 8,104,005	(350,012) 8,419,364
9 月	(737,962) 22,662,638	(918,425) 21,705,729	(408,162) 14,281,720	(529,866) 12,653,078	(329,800) 8,380,918	(388,559) 9,052,651
10 月	(689,375) 21,975,145	(934,600) 21,172,179	(363,219) 13,119,036	(461,680) 12,248,308	(326,156) 8,856,109	(472,920) 8,923,871
11 月	(940,586) 18,236,866	(1,061,438) 18,603,691	(432,494) 9,251,974	(495,139) 9,128,577	(508,092) 8,984,892	(566,299) 9,475,114
12 月	(954,631) 21,799,765	(1,107,114) 18,455,467	(625,598) 9,901,974	(700,400) 8,691,279	(329,033) 11,897,791	(406,714) 9,764,188

1 () 内は国際貨物量で再掲である
東京航空局新千歳空港事務所 (空港政策課)

主要空港乗降客数(平成27年)



<資料>国土交通省「空港管理状況調査」

63 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の5による共用飛行場です。

面積 約1,059万㎡

滑走路 東側滑走路 延長3,000m 幅60m (セメントコンクリート舗装)
西側滑走路 延長2,700m 幅45m (アスファルトコンクリート舗装)

1 表233(3)に再掲

航空自衛隊千歳基地

※基地全体 1,053万㎡

飛行場 616万㎡

64 空港・飛行場除雪車両車種別保有台数

車種	新千歳空港	千歳飛行場	車種	新千歳空港	千歳飛行場
放雪車	ロータリ	7	バケットドーザー	—	—
モーターグレーダー	—	2	ホイルドーザー	—	5
トラックグレーダー	—	3	ロータリー車	8	—
スノープラウ	21	10	薬剤散布車	1	1
スイーパー	20	9	ダンプトラック	—	—
ブルドーザー	—	—	計	50	37

1 29年4月1日現在

東京航空局新千歳空港事務所・航空自衛隊千歳基地

65 鉄道旅客輸送人員の推移(乗車人員)

(単位 千人)

駅名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総数	7,743	8,218	8,512	8,768	9,181
千歳駅	2,951	3,013	3,065	3,114	3,156
南千歳駅	542	533	535	513	511
新千歳空港駅	4,250	4,672	4,912	5,141	5,514

1 美々駅、長都駅は無人駅のため不詳

北海道旅客鉄道(株)経営企画部

66 平成27年度道内駅別乗車人員(1日平均)

(単位 人)

順位	駅名	乗車人員	順位	駅名	乗車人員
1(1)	札幌	95,288	11(11)	大森	7,194
2(2)	手稲	15,335	12(12)	恵庭	7,144
3(4)	新千歳空港	15,066	13(13)	野幌	6,595
4(3)	新札幌	14,120	14(14)	星置	6,264
5(5)	琴似	11,518	15(15)	稲積公園	4,812
6(6)	桑園	10,084	16(16)	岩見沢	4,611
7(7)	小樽	8,973	17(17)	旭川	4,437
8(8)	千歳	8,623	18(18)	発寒	4,420
9(9)	白石	7,928	19(19)	苗穂	4,197
10(10)	北広島	7,605	20(20)	森林公園	4,191

1 ()内は前年度順位

北海道旅客鉄道(株)経営企画部

67 高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道 函館名寄線
区間	茅部郡森町ー士別市
延長	443.5km (千歳市域9.5km)
車線数	4車線 (一部暫定2車線)
設計速度	120km/時、100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度100km/時 (一部区間80km/時又は70km/時) 最低速度50km/時
サービスエリア	4か所 (有珠山 樽前 岩見沢 砂川)
パーキングエリア	11か所 (八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪)

1 29年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

(2) 道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道 黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市ー釧路市、足寄町 (国 直轄区間 (本別～阿寒) を含む)
延長	254.1km (千歳市域18.4km)
車線数	暫定2車線
設計速度	100km/時及び80km/時
規制速度	最高速度70km/時 (一部区間80km/時)
サービスエリア	1か所 (十勝平原)
パーキングエリア	5か所 (キウス 由仁 占冠 長流枝 上浦幌)

1 29年3月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(3) 供用状況(インターチェンジ)

大沼公園-24-森-23-落部-21-八雲-18-国縫-13-長万部-9-虻田洞爺湖-6-伊達-4-室蘭-3-登別室蘭-61-
登別東-60-白老-58-苫小牧西-55-苫小牧東-53-新千歳空港-53-千歳-46-北広島-54-札幌南-60-札幌-58-
小樽-46-札幌西-4-
15-足寄
11-夕張-23-占冠-21-トマム-19-十勝清水-7-池田-15-本別-21-浦幌-26-白糠-27-阿寒
(ジャンクションは本別)

一岩見沢-62-美唄-63-滝川-元-深川-2-旭川鷹栖-12-和寒-15-士別釧淵

1 29年3月31日現在
2 供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
3 千歳-阿寒・足寄間は道東自動車道を示す (ジャンクションは千歳恵庭)
4 札幌-小樽間は札幌自動車道を示す (ジャンクションは札幌)
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移 (単位 台)

年度	総 数	日 平 均
24	4,651,924	12,745
25	4,330,974	11,866
26	4,018,556	11,010
27	4,156,185	11,356
28	4,274,643	11,711

NEXCO東日本北海道支社



68 バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

(単位 千人)

年度	24	25	26	27	28
輸 送 人 員	2,679	2,682	2,738	2,994	2,909

1 千歳市内に路線を持つ会社4社の合計である
北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(2) 会社別・路線別輸送人員 (平成28年度)

(単位 千人)

会 社 名	路 線	輸送人員	会 社 名	路 線	輸送人員
北海道中央バス		2,112	千歳相互観光バス		478
	千 歳	912		青 葉	45
	千歳空港支笏湖	45		泉 沢	379
	苫 小 牧	239		循 環 バ ス	54
	千 歳 市 内	893			
	循 環 バ ス	23	あつまバス	千 歳	31
道 南 バ ス		288			
	苫小牧千歳空港	179			
	室蘭千歳空港	109			

北海道中央バス(株)・道南バス(株)・千歳相互観光バス(株)・あつまバス(株)

(3) ビーバス輸送人員の推移

(単位 人)

年度・月	総 数	中央バス Aコース	相互バス Bコース	便 数
23年度	114,176	60,716	53,460	5,375
24年度	114,074	61,329	52,745	5,360
25年度	114,062	60,856	53,206	5,360
26年度	117,658	62,840	54,818	5,380
27年度	117,073	63,057	54,016	5,376
28年度 4月	8,685	4,796	3,889	440
5月	8,831	4,812	4,019	448
6月	9,570	5,258	4,312	448
7月	9,326	5,107	4,219	456
8月	9,287	5,059	4,228	460
9月	10,146	5,551	4,595	448
合計	55,845	30,583	25,262	2,700

1 ビーバスは全市的な路線の見直しにより平成28年9月30日で廃止
市民生活課

69 タクシーの輸送状況の推移

年	会社数(社)	登録台数(台)	実車走行距離(千km)	乗車人員(千人)
25	7	166	5,077	2,160
26	6	167	5,338	2,167
27	6	169	5,468	2,277
28	6	178	5,666	2,313
29	6	183	5,817	2,325

1 各年3月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70 自動車車種別登録台数の推移

(単位 台)

車 種	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総 数	70,412	71,657	72,898	74,052	74,232
貨物自動車					
普通車	2,587	2,598	2,595	2,594	2,634
小型四輪車	2,394	2,440	2,397	2,493	2,626
小型三輪車					
被けん引車	223	214	208	244	253
乗合自動車					
普通車	165	168	171	199	215
小型車	167	181	174	172	177
乗用自動車					
普通車	15,503	15,643	15,907	16,204	16,478
小型車	24,840	25,156	24,779	24,409	23,639
特殊用途車					
普通車	1,195	1,185	1,175	1,165	1,174
小型車					
大型特殊車	621	625	641	650	654
小型二輪車	1,166	1,184	1,231	1,311	1,291
軽自動車	21,551	22,263	23,620	24,611	25,091

1 各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局

71 電話加入状況の推移

(単位 台)

年度	加 入 電 話					公 衆 電 話	
	総 数	区 分		100人 当たり 普及台数	住宅用 電話比率 (%)	総 数	1,000人 当たり 普及台数
		事務用	住宅用				
24	19,954	5,953	14,001	21.2	70.2	228	2.4
25	16,298	3,218	13,080	17.2	80.0	168	1.8
26	15,542	3,012	12,530	16.4	80.6	154	1.6
27	14,841	2,301	11,998	15.6	80.8	147	1.6
28	16,172	4,632	11,540	16.9	71.4	137	1.4

1 各年度末現在 (INSネット回線含む)
2 INSネット1500は10回線換算とした
NTT東日本(株)北海道支店

72 郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び 印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
25	15	1	113	124
26	15	1	111	122
27	15	1	115	108
28	15	1	119	106
29	15	1	124	107

1 各年4月1日現在
日本郵便株式会社 北海道支社
※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73 テレビ受信契約数の推移

(単位 件)

年 度	契 約 数	衛星契約数（再掲）
24	32,768	11,960
25	33,589	12,918
26	・・・	・・・
27	・・・	・・・
28	・・・	・・・

1 各年3月31日現在
2 26年度より不詳
NHK新札幌営業センター